



イーストスプリング・グローバル・ダイナミック株式ファンド  
(年2回決算型)  
NISA成長投資枠の対象ファンドです。

# イーストスプリング・グローバル・ ダイナミック株式ファンド

(毎月決算・予想分配金提示型) / (年2回決算型)

追加型投信 / 海外 / 株式

本物の運用力を。「真のマーケット・リーダー」に厳選投資



設定・運用は



イーストスプリング・インベストメンツ株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第379号  
加入協会 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

# 長期で良好な運用実績を誇るグロース株運用



- ▶ AGFグローバル・セレクト・ファンド(米ドルベース)(代表ファンド)は、過去の上昇局面で高いリターンを獲得するとともに、市場環境の変化を的確に捉えた機動的な運用により、各局面で優れた実績を積み重ねてきました。

## (ご参考)代表ファンドと世界株指数のパフォーマンスおよび局面別騰落率

(2012年12月末～2025年12月末、月次)



局面別騰落率	① 欧州債務危機後 (2012年12月末～2018年1月末)	② 米中貿易摩擦 (2018年1月末～2019年12月末)	③ コロナショック (2019年12月末～2021年12月末)	④ インフレ・米国利上げ (2021年12月末～2025年12月末)
代表ファンド	+110%	+14%	+70%	+45%
世界株指数	+82%	+10%	+39%	+46%

出所:AGFインベストメンツ、Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

※代表ファンドは、AGFインベストメンツ・インクが当ファンドと同一の運用戦略および運用プロセスで運用するカナダ籍ファンド「AGFグローバル・セレクト・ファンド」(米ドルベース)を指します。代表ファンドのパフォーマンスは、税引前配当込み、運用管理費用控除前の実績から当ファンドの運用管理費用(信託報酬等・年率1.72%)を控除したものです(購入時手数料は考慮していません)。代表ファンドは、当ファンドの投資先ファンドではなく、また当ファンドの実績を示すものでも将来の運用成果を示唆・保証するものでもありません。また本資料は代表ファンドの勧誘を目的とするものではありません。世界株指数(MSCI オール・カンントリー・ワールド・インデックス(米ドルベース、税引前配当込み))については、運用報酬・諸費用等は考慮していません。世界株指数は当ファンドのベンチマークや参考指数ではありません。

※グラフの期間は現在の運用プロセスで運用が行われた期間のうち、経済、金融市場の環境が大きく変化した際の世界株指数の下落、上昇を一つの期間として例示したものです(イベント前後の月次データにおける、世界株指数の高値から、その後の下落局面が始まる直前に付けた高値までの期間)。

# 当ファンドの特徴



1

世界の「**真のマーケット・リーダー**」に  
厳選投資

→3~5ページご参照



2

投資環境を読み解く「**レジームモデル**」で  
市場環境の変化に対応

→6ページご参照



3

長い運用実績を誇るAGF\*による機動的な運用

→7~8ページご参照



\*AGFインベストメンツ・インク



## 2つの側面から、「真のマーケット・リーダー」を厳選

- ▶ 当ファンドは、革新性を備え、中長期で高い成長が期待できる**業界のリーダー企業**を見極めます。あわせて株価や業績予想の上昇トレンドを確認し、成長が市場期待を上回る可能性のある**株式市場のリーダー企業**を選別することで、「真のマーケット・リーダー」へ厳選投資します。



成長が期待できる分野の  
リーダー企業



株価・業績予想が  
上昇トレンドにある企業

業界のリーダー企業

株式市場のリーダー企業



## 「真のマーケット・リーダー」を厳選

※上図はあくまでイメージです。



# 「成長が期待できる分野のリーダー企業」とは？

▶ 「成長が期待できる分野のリーダー企業」は、革新性を備えているに加え、その企業が属する業界規模の拡大が期待されるかどうかや、売上・利益が高成長であるかなどの観点から判断します。注目している業界や成長テーマも勘案し、中長期的に高成長が期待できる企業を選別します。

## 成長が期待できる分野のリーダー企業(業界のリーダー企業)

業界規模の拡大



革新性

(新製品・サービス、市場シェア獲得)



売上・利益の高成長



### 中長期的な高成長が期待

3～5年程度で業績の大幅な伸びが期待できる企業に注目

### 注目している業界や成長テーマの例

(2025年12月時点)



代替投資



生成AI



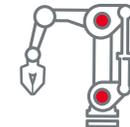
防衛



クラウド・  
Eコマース



健康・  
ウェルネス



ロボティクス・  
ヒューマノイド



公共安全・  
ドローン



世代間の  
富の移転



サイバー  
セキュリティ

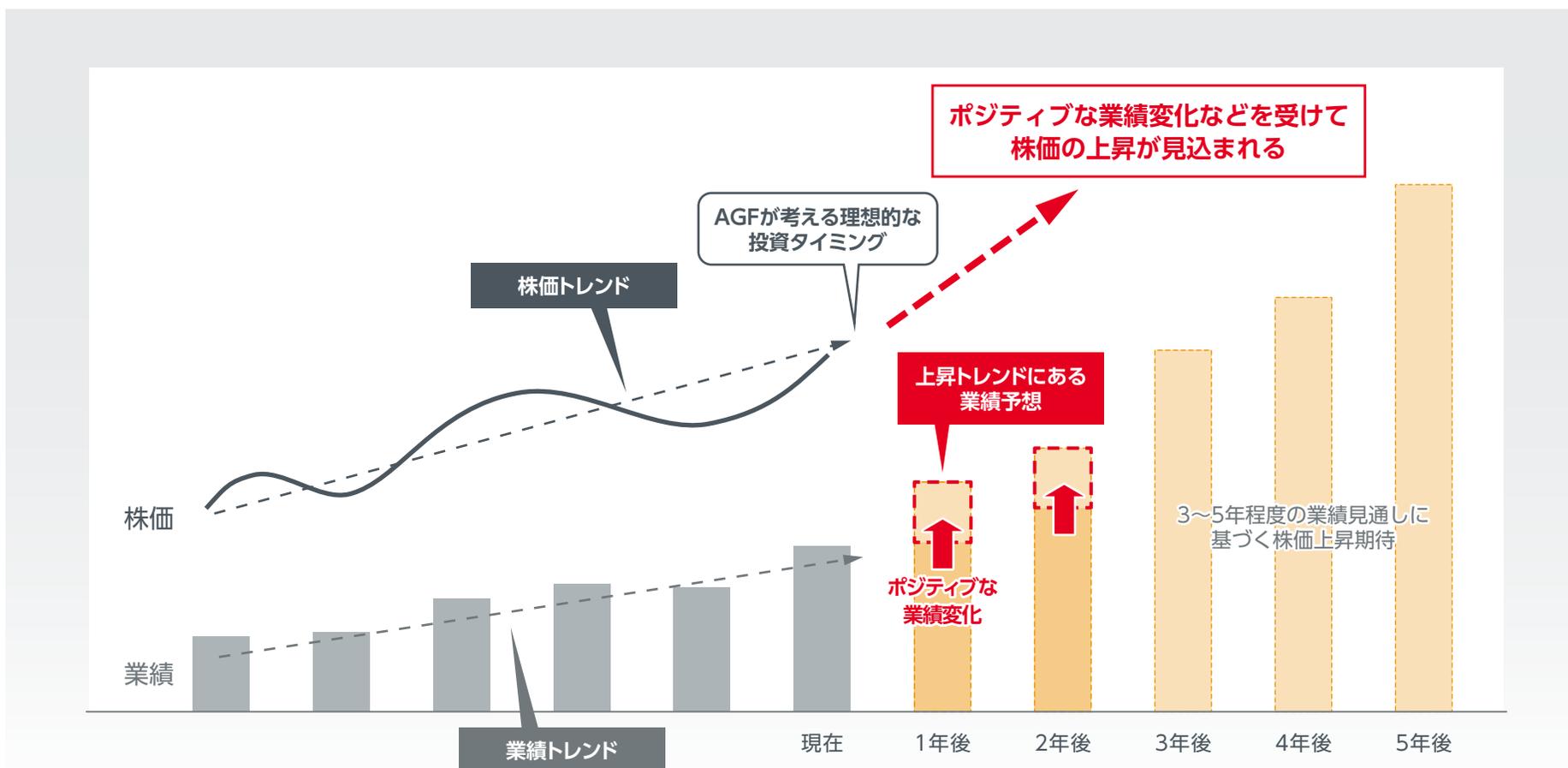
※資料作成時点の注目テーマを例示したものであり、全てを網羅しているわけではありません。今後変更となる場合があります。



# 「株価・業績予想が上昇トレンドにある企業」とは？

- ▶ 「**株価・業績予想が上昇トレンドにある企業(株式市場のリーダー企業)**」は、景気循環や政府・中央銀行の政策要因による追い風、ポジティブな業績変化などを背景に株価の上昇が見込まれるかという観点から判断します。3～5年程度で業績の大幅な伸びが期待できる「**成長が期待できる分野のリーダー企業**」の中から、株価の上昇タイミングに注目し、理想的な投資タイミングを見極めて選別します。

## 「株価・業績予想が上昇トレンドにある企業(株式市場のリーダー企業)」の投資タイミング (イメージ)



※上記は運用手法をイメージしていただくためのイメージ図です。実際の投資判断においては必ずしも上図のような投資タイミングとなるわけではありません。



# 金融環境の変化を捉える独自のマーケット環境分析モデル

▶ レジームモデルとは、市場環境を「経済成長」「インフレ」に基づき、「金融環境」の観点から4つの象限(レジーム)に分類し、各局面で優位なセクターや投資対象資産の情報を把握するための分析手法です。各局面で優位なセクターや投資対象資産の情報を把握し、投資判断に活用します。

## レジームモデル:局面別に優位なセクター例



## 「レジームモデル」の活用ポイント

- 各局面の**発生確率**と**変化のスピード**を算出
- **過去50年超**のリアルタイムデータを継続分析
- **国やサブセクター**まで詳細に分析
- **運用者の迅速な意思決定**をサポート

## 「レジームモデル」の活用例

2023年の米地方銀行破綻時、レジームモデルは株式に不利な**ディフェンシブ(低成長・低インフレ)**局面を示していました。しかし、FRB(米連邦準備制度理事会)の支援策発表後は、レジームモデルは株式に追い風となる**ゴルディオックス(高成長・低インフレ)**環境へ移行すると予測しました。実際に、株式市場は反発局面に入り、**金融セクターの比率を高めたことで、2024~2025年のパフォーマンス改善に寄与しました。**

※当運用は、長期的な視点で高い成長が期待される銘柄をボトムアップのファンダメンタルズ分析に基づき厳選しています。一方、レジームモデルは、運用者が将来の短期的なマクロ環境やその環境下でパフォーマンスが期待できるセクターや資産の特性を理解し、投資判断に活用することを目的としています。レジームモデルは、発生確率が複数のレジームに分散する場合「中立」を示します。

※レジームモデルは、世界経済に影響を与える米国の市場環境を分析したものであり、優位なセクター例は過去の実績に基づく米国内セクターを例示したものです。これらは今後変化する場合があります。  
※セクター区分は、原則としてMSCI/S&P GICSに準じています(一部イーストスプリング・インベストメンツの判断に基づく分類を採用)。なお、GICSに関する知的財産権は、MSCI Inc.およびS&Pにありま

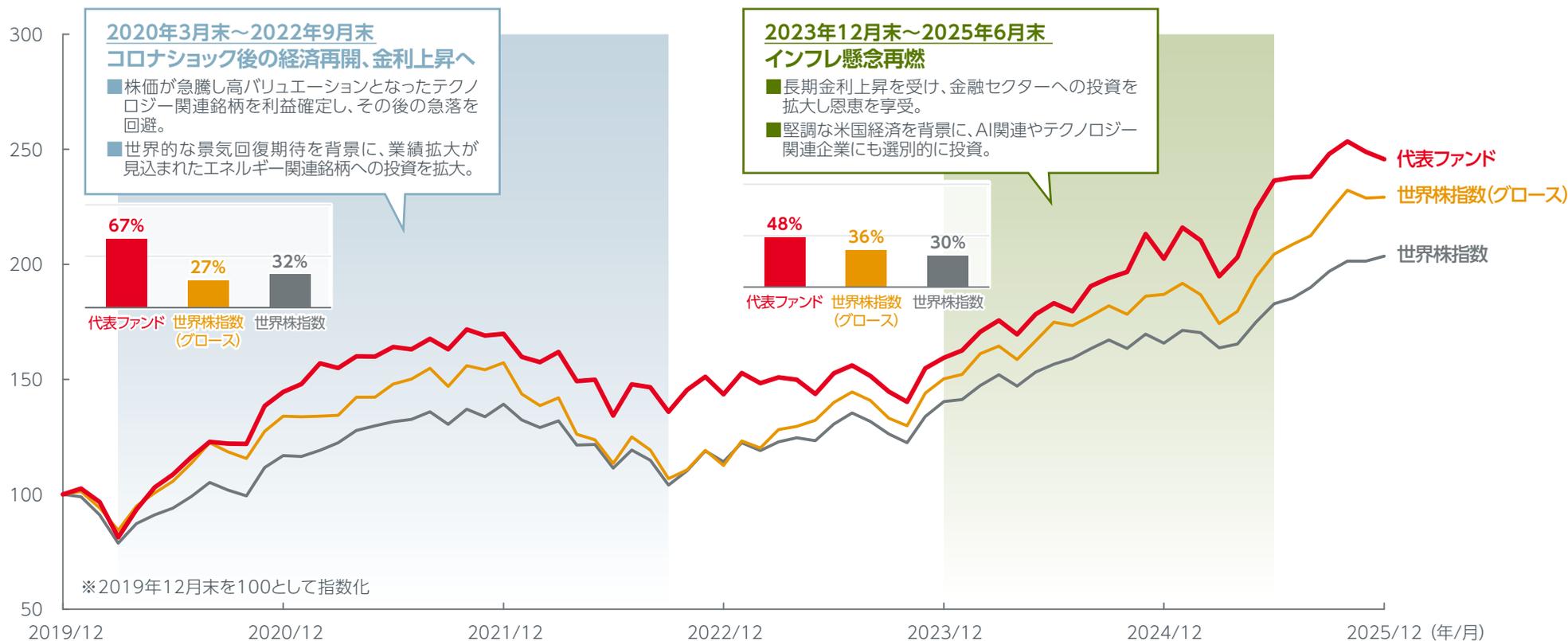


# 機動的な運用によりパフォーマンスを追求

▶ AGFは、50年超のデータで市場環境を“見える化”する独自の「レジームモデル」を活用し、個別企業の業績や株価トレンドの変化、マクロ環境の分析を組み合わせることで、株式市場の変化に柔軟に対応してきました。

## (ご参考)代表ファンドと世界株指数のパフォーマンスおよび局面別騰落率

(2019年12月末～2025年12月末、月次)



出所:AGFインベストメンツ、Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

※代表ファンドは、AGFインベストメンツ・インクが当ファンドと同一の運用戦略および運用プロセスで運用するカナダ籍ファンド「AGFグローバル・セレクト・ファンド」(米ドルベース)を指します。代表ファンドのパフォーマンスは、税引前配当込み、運用管理費用控除前の実績から当ファンドの運用管理費用(信託報酬等・年率1.72%)を控除したものです(購入時手数料は考慮していません)。代表ファンドは、当ファンドの投資先ファンドではなく、また当ファンドの実績を示すものでも将来の運用成果を示唆・保証するものでもありません。また本資料は代表ファンドの勧誘を目的とするものではありません。世界株指数(MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス(米ドルベース、税引前配当込み))および世界株指数(グロース)(MSCI オール・カントリー・ワールド・グロース・インデックス(米ドルベース、税引前配当込み))については、運用報酬・諸費用等は考慮していません。世界株指数および世界株指数(グロース)は当ファンドのベンチマークや参考指数ではありません。



# 市場環境の変化に応じた機動的な銘柄入替

## 代表ファンドの組入上位10銘柄の推移

## 組入上位10銘柄の年平均入替数(過去10年平均) **7**銘柄

2020年3月末 一般消費財・サービスや情報技術、 コミュニケーション・サービスを中心に組入	
銘柄名	業種
1 ソニー(ADR)*	一般消費財・サービス
2 アマゾン・ドット・コム	一般消費財・サービス
3 プラネット・フィットネス	一般消費財・サービス
4 アリババ・グループ・ホールディング(ADR)*	一般消費財・サービス
5 ロジテック・インターナショナル	情報技術
6 TモバイルUS	コミュニケーション・サービス
7 グローバント	情報技術
8 サービスナウ	情報技術
9 IHSマークイット	資本財・サービス
10 ロク	コミュニケーション・サービス

組入上位10銘柄比率:46%

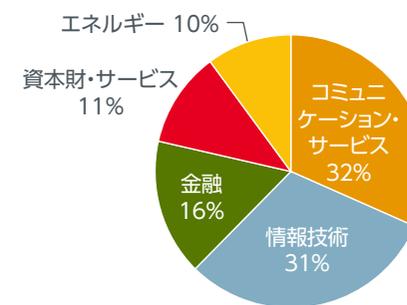
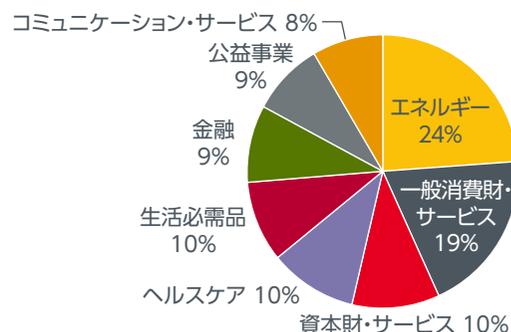
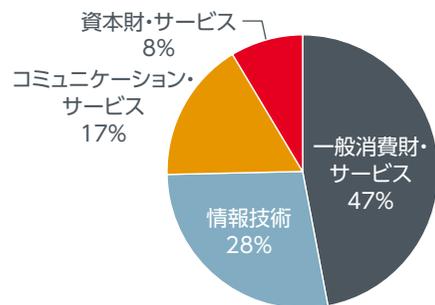
2022年9月末 テクノロジー関連銘柄を利益確定しながら、 エネルギーや公益事業などの組入を拡大	
銘柄名	業種
1 シェニエール・エナジー	エネルギー
2 マラソン・ペトロリアム	エネルギー
3 アマゾン・ドット・コム	一般消費財・サービス
4 AECOM(エーイーコム)	資本財・サービス
5 ユナイテッドヘルス・グループ	ヘルスケア
6 コンステレーション・ブランズ	生活必需品
7 レイモンド・ジェームズ・フィナンシャル	金融
8 AES(エー・イー・エス)	公益事業
9 コンパス・グループ	一般消費財・サービス
10 TモバイルUS	コミュニケーション・サービス

組入上位10銘柄比率:45%

2025年6月末 AI関連銘柄を上位で維持しつつ、金融の組入を拡大	
銘柄名	業種
1 メタ・プラットフォームズ	コミュニケーション・サービス
2 エヌビディア	情報技術
3 ブロードコム	情報技術
4 シーメンス・エナジー	資本財・サービス
5 スポティファイ・テクノロジー	コミュニケーション・サービス
6 エクスパンド・エナジー	エネルギー
7 ロビンフッド・マーケッツ	金融
8 クラウドストライク・ホールディングス	情報技術
9 テンセント・ホールディングス	コミュニケーション・サービス
10 LPLフィナンシャル・ホールディングス	金融

組入上位10銘柄比率:42%

## 組入上位10銘柄の業種別比率



出所:AGFインベストメンツのデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

\*ADR(米国預託証券)は米国外の企業が米国で発行する預託証券(DR)です。DR(預託証券)とはDepositary Receiptの略で、ある国の株式発行会社の株式を海外で流通させるために、その会社の株式を銀行などに預託し、その代替として海外で発行される証券をいいます。DRは、株式と同様に金融商品取引所などで取引されます。

※代表ファンドは、AGFインベストメンツ・インクが当ファンドと同一の運用戦略および運用プロセスで運用するカナダ籍ファンド「AGFグローバル・セレクト・ファンド」(米ドルベース)を指します。

※「組入上位10銘柄比率」は、代表ファンドの純資産総額を100%として計算しています。「組入上位10銘柄の業種別比率」は四捨五入の関係上、合計値が100%とならない場合があります。

※銘柄名は、イーストスプリング・インベストメンツが翻訳したものであり、発行体の正式名称と異なる場合があります。

※業種区分は、原則としてMSCI/S&P GICSに準じています(一部イーストスプリング・インベストメンツの判断に基づく分類を採用)。なお、GICSに関する知的財産権は、MSCI Inc.およびS&Pにあります。



「真のマーケット・リーダー」への投資事例①

# ロビンフッド・マーケットツ (米国 / 金融)

金融セクター優位の環境下で、暗号資産の規制環境の進展や利用拡大から恩恵を受けるプラットフォーム

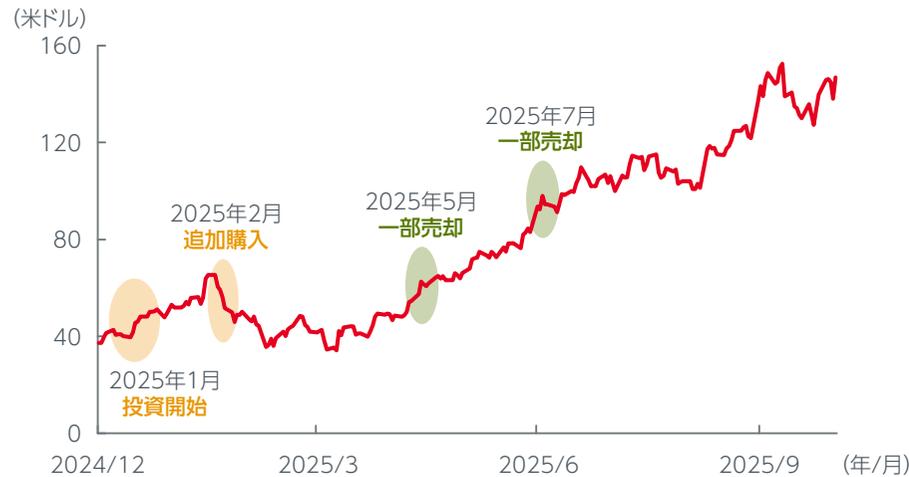
## 金融×次世代プラットフォーム

株式やETF、暗号資産の取引に加え、キャッシュマネジメントなど多様なサービスを提供する金融サービス・プラットフォーム企業。若年層を中心とした投資参加の拡大や、規制環境の整備、さらには世代間の富の移転を背景に、暗号資産を含むデジタル金融領域での成長が期待される。



### 株価の推移

(2024年12月末～2025年10月末、日次)



### 業界のリーダー企業の視点

- 手数料無料取引を先駆け、個人投資の常識を変革。
- 暗号資産やキャッシュ運用を含む総合金融サービスへ拡張。
- 暗号資産市場拡大の恩恵を享受しつつ、暗号資産そのものへの直接的な価格変動リスクを回避。

### 株式市場のリーダー企業の視点

- トランプ政権下で暗号資産に対する規制環境の整備進展への期待を織り込み上昇。

### 投資行動

- 2025年1月に投資開始。上昇局面で段階的に売却を実施。

出所:AGFインベストメンツ、Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

※写真はイメージです。

※銘柄名は、イーストスプリング・インベストメンツが翻訳したものであり、発行体の正式名称と異なる場合があります。

※国・地域は、当該銘柄発行者の所在国・地域を記載しています。

※業種区分は、原則としてMSCI/S&P GICSに準じています(一部イーストスプリング・インベストメンツの判断に基づく分類を採用)。なお、GICSに関する知的財産権は、MSCI Inc.およびS&Pにあり。

※銘柄概要は、当該銘柄の紹介を目的としてイーストスプリング・インベストメンツが作成したものであり、将来の値動きを示唆するものではありません。

※当該銘柄について今後の組入を約束するものでも、売買を推奨するものでもありません。



「真のマーケット・リーダー」への投資事例②

# マラソン・ペトロリアム(米国／エネルギー)

高い精製能力とガソリン需要回復を背景に、株式市場でもリーダー企業に

## エネルギー×インフラ基盤



米国最大級の石油精製会社であり、高い精製能力と広範なパイプライン網を有することで、安定供給と効率的な事業運営を実現している。エネルギー需要の回復や原油価格の上昇を背景に業績は拡大しており、強固なキャッシュフローを基盤に株主還元にも積極的に取り組んでいる。

### 株価の推移

(2019年12月末～2024年6月末、日次)



### 業界のリーダー企業の視点

- 高い精製能力と広範な販売網で財務基盤を強化。
- 効率的な事業運営とエネルギー転換への対応も推進。

### 株式市場のリーダー企業の視点

- ガソリン需要回復や原油価格上昇を追い風に業績が改善。

### 投資行動

- 2020年7月に投資開始。株価上昇に伴い、2024年4月に全売却。

出所:AGFインベストメンツ、Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

※写真はイメージです。

※銘柄名は、イーストスプリング・インベストメンツが翻訳したものであり、発行体の正式名称と異なる場合があります。

※国・地域は、当該銘柄発行者の所在国・地域を記載しています。

※業種区分は、原則としてMSCI/S&P GICSに準じています(一部イーストスプリング・インベストメンツの判断に基づく分類を採用)。なお、GICSに関する知的財産権は、MSCI Inc.およびS&Pにあり。

※銘柄概要は、当該銘柄の紹介を目的としてイーストスプリング・インベストメンツが作成したものであり、将来の値動きを示唆するものではありません。

※当該銘柄について今後の組入を約束するものでも、売買を推奨するものでもありません。

# 当ファンドの運用体制



- ▶ 当ファンドの投資先ファンドの運用は、1957年に設立され、カナダ・トロントに本社を置く独立系運用会社、AGFマネジメント・リミテッドのグループ企業であるAGFインベストメンツ・インクが担います。
- ▶ 日本では、イーストスプリング・インベストメンツがファンドの運用管理等を行います。

米国株式を中心に長い運用実績を誇る  
AGFインベストメンツ・インク



## カナダで初の米国株グロースファンドを立ち上げたパイオニア

- ・年金先進国であるカナダで、初めて米国株式に特化したアクティブファンドを立ち上げた独立系運用会社、AGFマネジメント・リミテッドのグループ企業。社名のAGFはアメリカン・グロース・ファンドの略称。
- ・AGFを設立した創業者のウォーレン・ゴールドリングはカナダの資産運用業界のパイオニア的存在であり、業界団体会長を務めるなど業界の発展に貢献。
- ・運用資産残高はグループ全体で424億米ドル(約6.3兆円\*)に上ります。
- ・類似運用戦略である「AGFグローバル・セレクト戦略」は同社を代表するグローバル・グロース株式戦略です(戦略運用資産残高53億米ドル(約7,846億円\*)。



\*1米ドル=148.03円で換算。

写真:AGFインベストメンツ本社  
(カナダ、トロント)

当ファンドを実質的に運用する  
リード・ポートフォリオ・マネジャー(主要担当者)

## 徹底したボトムアップ×マクロ分析のハイブリッド



オーリトロ・グンドウ  
ポートフォリオ・  
マネジャー

在籍 11年  
金融業界経験 14年



マイク・アーチボルド  
ポートフォリオ・  
マネジャー

在籍 11年  
金融業界経験 19年



レジナ・チ  
ポートフォリオ・  
マネジャー

在籍 9年  
金融業界経験 32年

- ・徹底したボトムアップリサーチに加え、市場環境の変化も見据えたトップダウンの視点を活用することで、あらゆる投資サイクルにおいて優れた高成長企業を捉え、保有するすべての銘柄がこの投資方針に合致することを日々検証します。

2025年9月末時点

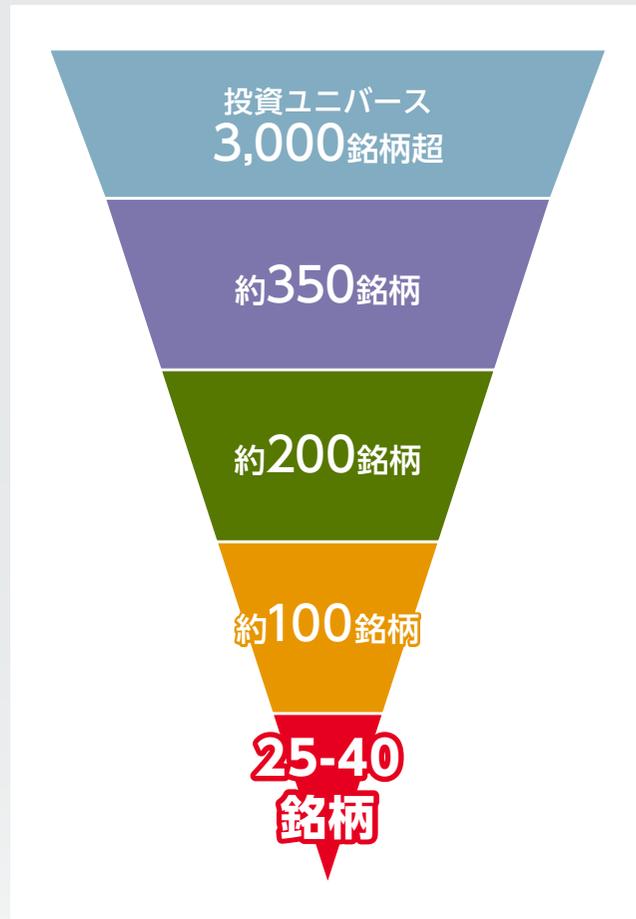
## イーストスプリング・インベストメンツについて～175年以上の歴史を有する英国の金融サービスグループの一員です。

- ▶ イーストスプリング・インベストメンツ株式会社は、1999年の設立以来、日本の投資家のみなさまに資産運用サービスを提供しています。イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社は、アジア・アフリカ地域を中心に業務を展開しています。
- ▶ 最終親会社グループはいち早くアジアの成長性に着目し、2025年12月末現在、アジアでは15の国や地域で生命保険および資産運用を中心に金融サービスを提供しています。

# 真のマーケット・リーダーを厳選する運用プロセス



## 運用プロセス



先進国および新興国の中から、  
時価総額5億米ドル以上の3,000銘柄超を投資ユニバースとします。

### ① アイディア創出

経営者や専門家とのミーティング等を通じた情報収集に加えて、利益や売上の伸び、業績の上方修正、フリーキャッシュフロー、利益率などの指標に基づき定量スクリーニングを行います。

### ② ファンダメンタルズ分析

新商品・サービスなどの革新性、研究開発投資の動向、業界の成長見通し、ESG評価などを分析し、成長ドライバーを特定します。

### ③ 投資候補銘柄の選定

同業他社や過去と比較した株価水準の魅力度、競争優位性などを踏まえて投資候補銘柄を選定します。

### ④ ポートフォリオ組み入れ

十分なグロース特性を満たす企業について、業績変化のタイミングや株価トレンドなどを見極めて、マーケット・リーダーを厳選して投資します。

### リスク管理 (損失の抑制)

企業固有の要因などで株価が直近高値(あるいは投資価格)から20%下落した場合、企業固有の課題を反映している可能性があることから、保有状況を見直します。

※上記の運用プロセスは今後変更される場合があります。

## 組入上位10銘柄(2025年12月末時点)



銘柄名	国・地域	業種	比率	銘柄概要
1 エヌビディア	米国	情報技術	5.3%	テクノロジー企業。科学的計算、AI、データサイエンス、自動運転車、ロボット工学、メタバース、3Dインターネットアプリケーション向けのプラットフォームを開発する。
2 東京エレクトロン	日本	情報技術	4.8%	工業用電子製品メーカー。半導体製造機械、フラットパネルディスプレイ (FPD) 製造機械、太陽光発電 (PV) 製造機械、電子部品などを製造する。
3 アップル	米国	情報技術	4.7%	IT企業。スマートフォン、パソコン、タブレット、ウェアラブル端末および関連アクセサリーの設計・製造・販売を行うほか、決済、デジタルコンテンツ、クラウドおよび広告サービスを提供する。
4 L3ハリス・テクノロジーズ	米国	資本財・サービス	4.5%	技術会社。航空宇宙・防衛関連の技術開発に取り組み、無線通信製品およびシステムの設計、開発、製造を手掛ける。
5 テンセント・ホールディングス	中国	コミュニケーション・サービス	4.4%	持株会社。子会社を通じてSNS、音楽配信、ウェブサービス、電子商取引、ゲーム、決済システム、エンターテインメント、人工知能など多様なサービスを展開。
6 アマゾン・ドット・コム	米国	一般消費財・サービス	4.3%	オンライン小売会社。書籍、音楽、コンピューター、電子機器をはじめ、多岐にわたる製品の販売を手掛ける。
7 ブロードコム	米国	情報技術	4.0%	半導体を中核とする総合テクノロジー企業。デジタルおよびミックストシグナルCMOSベースのデバイスや、アナログIII-Vベース製品を提供するほか、エンタープライズ向けおよびデータセンターネットワークングソリューションも展開する。
8 ダナハー	米国	ヘルスケア	3.9%	専門器具メーカー。試験、計測、環境、生命科学、歯科、工業技術などの分野で使用される専門・医療・商工業用器具を設計・製造・販売する。
9 アルファベット	米国	コミュニケーション・サービス	3.6%	持株会社。子会社を通じて、ウェブ検索、広告、地図、ソフトウェア・アプリケーション、消費者向けコンテンツ、業務ソリューション、eコマース、ハードウェア製品などを提供する。
10 ゴールドマン・サックス・グループ	米国	金融	3.5%	銀行持株会社。グローバルな投資銀行業務を中心に、投資銀行、トレーディングおよびプリンシパル投資、資産運用、証券サービスなどの事業を展開する。

組入銘柄数	組入上位10銘柄比率
37	43.0%

出所:AGFインベストメンツのデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

※代表ファンドは、AGFインベストメンツ・インクが当ファンドと同一の運用戦略および運用プロセスで運用するカナダ籍ファンド「AGFグローバル・セレクト・ファンド」(米ドルベース)を指します。

※比率は、代表ファンドの純資産総額を100%として計算しています。

※銘柄名は、イーストスプリング・インベストメンツが翻訳したものであり、発行体の正式名称と異なる場合があります。

※国・地域は、当該銘柄発行者の所在国・地域を記載しています。

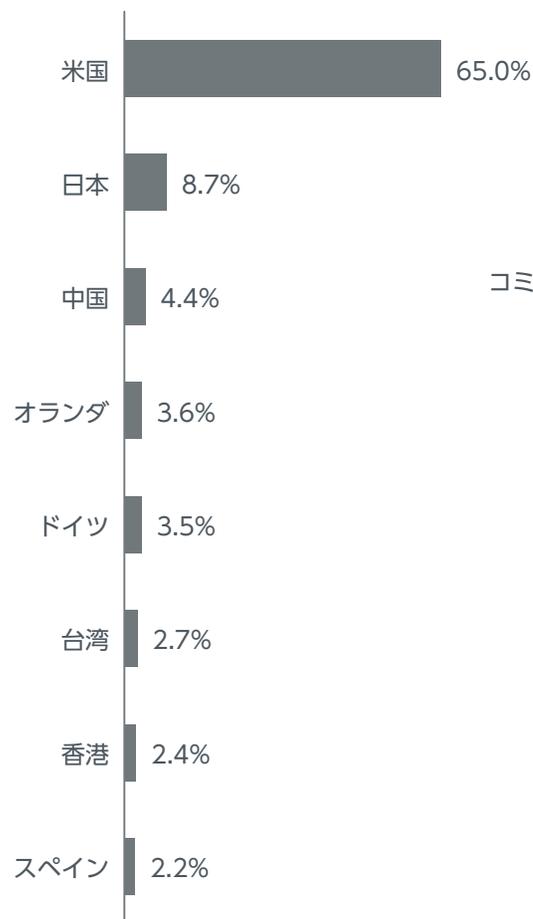
※業種区分は、原則としてMSCI/S&P GICSに準じています(一部イーストスプリング・インベストメンツの判断に基づく分類を採用)。なお、GICSに関する知的財産権は、MSCI Inc.およびS&Pにあります。

※銘柄概要は、組入銘柄の紹介を目的としてイーストスプリング・インベストメンツが作成したものであり、特定の銘柄の推奨や将来の値動きを示唆するものではありません。

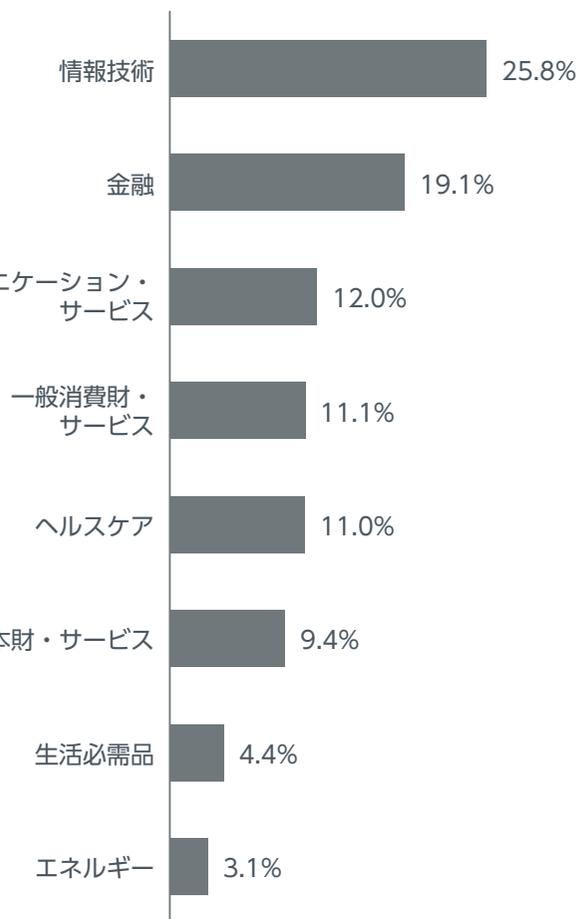


# 国別、業種別、特性値 (2025年12月末時点)

国・地域別組入比率



業種別組入比率



ポートフォリオ特性値

	代表ファンド	世界株指数
自己資本利益率 (ROE、%)	16.3	16.9
平均売上成長率 (過去3年、年率、%)	11.1	8.3
予想利益成長率 (2026年、対前年、%)	15.4	12.3
予想株価収益率 (予想PER、倍)	22.1	19.4

時価総額別組入比率

	代表ファンド	世界株指数
2,000億米ドル以上	48.3%	46.0%
150億米ドル以上 2,000億米ドル未満	49.7%	48.2%
50億米ドル以上 150億米ドル未満	2.0%	5.5%
50億米ドル未満	0.0%	0.4%

出所:AGFインベストメンツのデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

※代表ファンドは、AGFインベストメンツ・インクが当ファンドと同一の運用戦略および運用プロセスで運用するカナダ籍ファンド「AGFグローバル・セレクト・ファンド」(米ドルベース)を指します。世界株指数(MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス)は、当ファンドのベンチマークや参考指数ではありません。

※比率は、代表ファンドの純資産総額を100%として計算しています。

※国・地域は、当該銘柄発行者の所在国・地域を記載しています。

※業種区分は、原則としてMSCI/S&P GICSに準じています(一部イーストスプリング・インベストメンツの判断に基づく分類を採用)。なお、GICSに関する知的財産権は、MSCI Inc.およびS&Pにありま。



# L3ハリス・テクノロジーズ(米国／資本財・サービス)

防衛業界の変革者として世界の安全保障に貢献。米国の防衛方針に沿った事業展開により、マーケット・リーダーとして高い存在感

## 防衛×テクノロジー



宇宙・通信分野にまたがる幅広い技術基盤を有する企業。近年はサイバー戦等の高度化が進む領域での競争力を強化。国防総省の進める防衛力強化・近代化の取り組み等の米国の防衛方針に沿った事業展開を背景に、堅調な受注に支えられ着実な成長を続ける。

### 株価の推移

(2022年12月末～2025年12月末、日次)



出所:AGFインベストメンツ、Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

※写真はイメージです。

※代表ファンドは、AGFインベストメンツ・インクが当ファンドと同一の運用戦略および運用プロセスで運用するカナダ籍ファンド「AGFグローバル・セレクト・ファンド」(米ドルベース)を指します。

※国・地域は、当該銘柄発行者の所在国・地域を記載しています。

※業種区分は、原則としてMSCI/S&P GICSに準じています(一部イーストスプリング・インベストメンツの判断に基づく分類を採用)。なお、GICSに関する知的財産権は、MSCI Inc.およびS&Pにありませ

※銘柄名は、イーストスプリング・インベストメンツが翻訳したものであり、発行体の正式名称と異なる場合があります。

※銘柄概要は、組入銘柄の紹介を目的としてイーストスプリング・インベストメンツが作成したものであり、特定の銘柄の推奨や将来の値動きを示唆するものではありません。

※当該銘柄について今後の組入を約束するものでも、売却を推奨するものでもありません。

### 業界のリーダー企業の視点

- 従来型の防衛産業から、技術主導の高度エンジニアリング企業へ転換し、宇宙・サイバー分野でも存在感を高めている。

### 株式市場のリーダー企業の視点

- 宇宙部門やエアロジェット・ロケットダイン社買収が売上・利益を牽引。ミサイル／防衛システムの需要増が業績を支える。
- 米国国防総省との関係強化で長期成長を確保。

### 投資行動

- センサー技術やエアロジェット・ロケットダイン社買収による能力強化を評価。2025年5月に投資開始。



# ダナハー (米国 / ヘルスケア)

ヘルスケアイノベーションの長期的需要に加え、景気循環の追い風も享受する優良企業

## ヘルスケア×イノベーション



1984年創業のグローバル科学技術企業で、バイオテクノロジー、ライフサイエンス、診断分野において世界的な強みを持つ。バイオ医薬品の研究・開発・製造を支援するソリューションに加え、ゲノム・細胞研究向けの先端機器や臨床診断機器も提供しており、ヘルスケア領域における技術革新を幅広く支える事業ポートフォリオを有している。

### 株価の推移

(2022年12月末～2025年12月末、日次)



出所:AGFインベストメンツ、Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

※写真はイメージです。

※代表ファンドは、AGFインベストメンツ・インクが当ファンドと同一の運用戦略および運用プロセスで運用するカナダ籍ファンド「AGFグローバル・セレクト・ファンド」(米ドルベース)を指します。

※国・地域は、当該銘柄発行者の所在国・地域を記載しています。

※業種区分は、原則としてMSCI/S&P GICSに準じています(一部イーストスプリング・インベストメンツの判断に基づく分類を採用)。なお、GICSに関する知的財産権は、MSCI Inc.およびS&Pにありませ

※銘柄名は、イーストスプリング・インベストメンツが翻訳したものであり、発行体の正式名称と異なる場合があります。

※銘柄概要は、組入銘柄の紹介を目的としてイーストスプリング・インベストメンツが作成したものであり、特定の銘柄の推奨や将来の値動きを示唆するものではありません。

※当該銘柄について今後の組入を約束するものでも、売買を推奨するものでもありません。

### 業界のリーダー企業の視点

- ライフサイエンスやヘルスケア領域で長期的なイノベーション需要があり、強固な財務基盤と安定した収益構造を背景に成長が続く見通し。

### 株式市場のリーダー企業の視点

- コロナ禍の特需が一巡し成長期待はやや後退したものの、金利環境の緩和で投資家心理や資金調達が改善。
- バイオテクノロジー企業の回復が追い風となり、上流工程に強みを持つ同社も景気循環の恩恵を受けると期待される。

### 投資行動

- 景気に左右されにくい収益構造とヘルスケアイノベーションの長期成長性を評価し、2025年10月に投資開始。



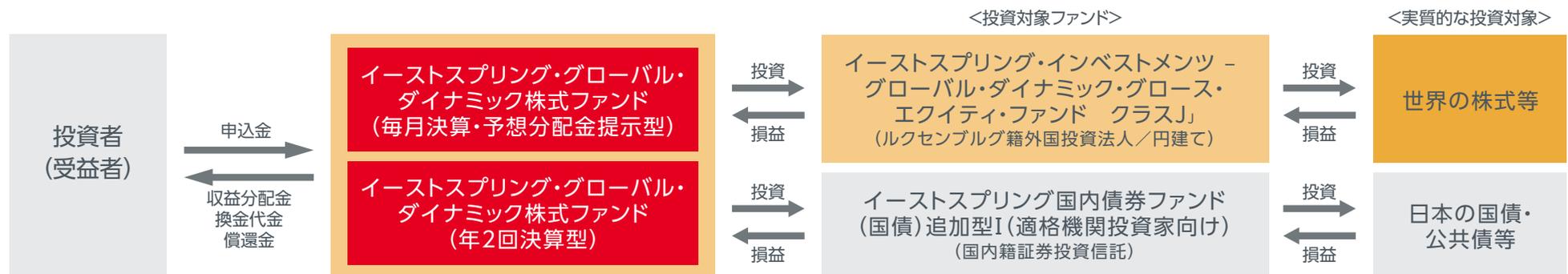
# ファンドの特色①

## 1 主として、世界の株式等に実質的に投資を行います。

- ▶ 「イーストスプリング・インベストメンツ - グローバル・ダイナミック・グロース・エクイティ・ファンド クラスJ」(以下「グローバル・ダイナミック・グロース・エクイティ」ということがあります。)に投資します。
- ▶ 革新性を備え、中長期で高い成長が期待できる業界のリーダー企業を見極めます。あわせて株価や業績予想の上昇トレンドを確認し、成長が市場期待を上回る可能性のある株式市場のリーダー企業を選別することで、「真のマーケット・リーダー」へ厳選投資します。

### ファンドの仕組み

- ▶ 当ファンドは、複数の投資信託証券に投資するファンド・オブ・ファンズ形式で運用を行います。
- ▶ 原則として、「イーストスプリング・インベストメンツ - グローバル・ダイナミック・グロース・エクイティ・ファンド クラスJ」への投資比率を高位に保ちます。



## 2 「グローバル・ダイナミック・グロース・エクイティ」の運用は、AGFインベストメンツ・インク (AGF) が行います。

- ▶ 同社は、1957年に設立されたカナダのトロントに本社を置く独立系運用会社、AGFマネジメント・リミテッドのグループ企業です。社名のAGFはアメリカン・グロース・ファンドの略称であり、年金先進国であるカナダにおいて、初めて米国株式に特化したアクティブファンドを立ち上げました。
- ▶ 運用資産残高はグループ全体で424億米ドル(2025年9月末現在 約6.3兆円、1米ドル=148.03円で換算)に上ります。

## 3 実質的な外貨建資産について、原則として対円での為替ヘッジを行いません。

- ▶ 当ファンドは世界の株式に実質的に投資するため、その基準価額は株式の値動きに加え、為替相場の動きに影響を受けます。



## ファンドの特色②

### 4 <毎月決算・予想分配金提示型>と<年2回決算型>の2つのファンドがあります。

#### 毎月決算・予想分配金提示型

- ▶ 原則として、毎月15日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等から、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。
- ▶ 各決算日の前営業日の基準価額(支払済み分配金(1万口当たり、税引前)累計額は加算しません。)に応じて、原則として、以下の金額の分配をめざします。

各決算日の前営業日の基準価額	分配金(1万口当たり、税引前)
11,000円未満	基準価額水準等を勘案して決定
11,000円以上～12,000円未満	200円
12,000円以上～13,000円未満	300円
13,000円以上～14,000円未満	400円
14,000円以上	500円

※分配対象額が少額の場合や、決算日の前営業日から決算日までに基準価額が急激に変動した場合等には、上記と異なる分配金額となることや分配を行わないことがあります。  
 ※基準価額が上記の一定の水準に一度でも到達すれば、その水準に応じた分配を行うというものではありません。  
 ※分配により基準価額は下落します。そのため、基準価額に影響を与え、次期以降の分配金額は変動する場合があります。また、あらかじめ一定の分配金額を保証するものではありません。  
 ※上記表に記載された基準価額および分配金額は、予想に基づくものであり、将来の運用の成果を保証または示唆するものではありません。

#### 年2回決算型

- ▶ 原則として、毎年3月15日および9月15日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等から、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。
- ▶ 元本の成長を重視して、分配金額を決定します。分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。

※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

# 収益分配金に関する留意事項



■分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託で分配金が  
支払われるイメージ

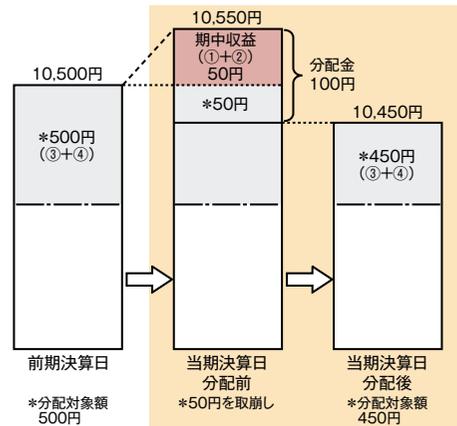


■分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

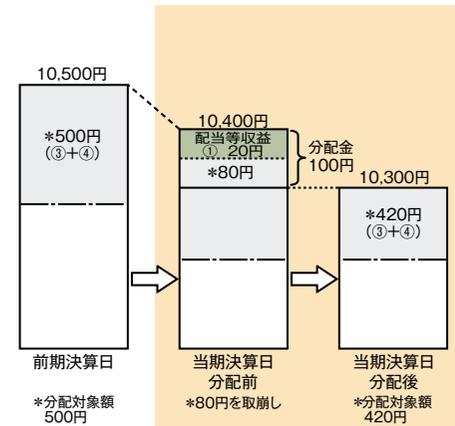
■投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上りが小さかった場合も同様です。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

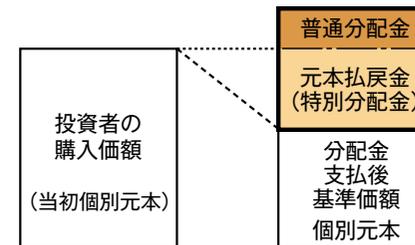
前期決算日から基準価額が上昇した場合



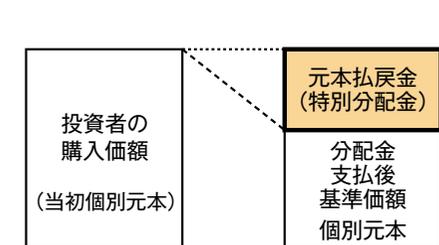
前期決算日から基準価額が下落した場合



分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



(注)分配金は、分配方針に基づき、以下の分配対象額から支払われます。

①経費控除後の配当等収益 ②経費控除後の売買益・評価益 ③分配準備積立金 ④収益調整金

※上図はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆、保証するものではありません。

※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。

また、元本払戻金(特別分配金)部分は**非課税扱い**となります。

普通分配金:個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金(特別分配金):個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

(注)普通分配金に対する課税については、最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」「手続・手数料等」の「ファンドの費用・税金」をご参照ください。



# ファンドのリスク

## 基準価額の変動要因

投資信託は預貯金とは異なります。

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて主に値動きのある有価証券に投資するため、当ファンドの基準価額は投資する有価証券等の値動きによる影響を受け、変動します。また、実質的に外貨建資産に投資しますので、為替変動リスクもあります。したがって、当ファンドは投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。当ファンドの運用による損益は、すべて投資者のみなさまに帰属します。

## 基準価額の変動要因となる主なリスク



### 株価変動リスク

株式の価格は、内外の政治経済情勢、株式を発行する企業の業績および信用状況等の変化の影響を受け変動します。当ファンドは主に株式に実質的に投資を行いますので、基準価額は株価変動の影響を受けます。



### 為替変動リスク

当ファンドは、実質的に組入れた外貨建資産について原則として為替ヘッジを行いませんので、為替レートの変動の影響を受けます。為替相場が円高方向に変動した場合には、基準価額の下落要因となります。



### 信用リスク

有価証券の発行者の経営・財務状況やそれらに対する外部評価の悪化により、組入れた有価証券の価格が大きく下落し、基準価額の下落要因となる場合があります。



### 流動性リスク

組入れた有価証券の市場規模が小さく取引量が少ない場合や市場が急変した場合、当該有価証券を希望する時期や価格で売却できないことがあり、基準価額の下落要因となる場合があります。



### カントリーリスク

投資対象国・地域の政治経済情勢・通貨規制・資本規制・税制・取引規制等の要因によって資産価格や通貨価値が大きく変動することがあり、基準価額が下落する要因となる可能性があります。

また、新興国の金融市場は先進国に比べ、政治、経済、国家財政の不安定要因や法制度の変更等に対する市場感応度が大きくなる傾向があります。これに伴い、投資資産の価格が大きく変動することや投資資金の回収が困難になることがあります。

(注) 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

## その他の留意点

- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- 大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要がある場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスクや取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金申込みの受け付けが中止となる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性があります。
- 金融商品取引所における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情（流動性の極端な減少等）があるときは、購入・換金のお申込みの受け付けを中止することおよびすでに受け付けたお申込みの受け付けを取消すことがあります。
- 分配金は計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。））を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。分配金はファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後は純資産が減少し、基準価額が下落する要因となります。投資者のファンドの購入価額によっては、支払われた分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上りが小さかった場合も同様です。
- 税制が変更されたときには、基準価額が影響を受ける場合があります。税金の取扱いにかかる関連法令・制度等は将来変更される場合があります。

※詳細につきましては、最新の「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

# お申込メモ



## ■お申込メモ ※詳細につきましては、最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

購入単位	販売会社がそれぞれ別に定める単位とします。詳細はお申込みの販売会社にお問合せください。
購入価額	当初申込期間:1口当たり1円 継続申込期間:お申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
購入代金	お申込みの販売会社の定める日までにお支払いください。
換金単位	販売会社がそれぞれ別に定める単位とします。
換金価額	換金の受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差引いた価額とします。
換金代金	換金の受付日から起算して原則として6営業日目からお支払いします。
購入・換金申込受付不可日	営業日が以下の日のいずれかにあたる場合は、購入・換金のお申込みはできません。 ・ルクセンブルグの金融商品取引所の休場日または銀行休業日 なお、上記以外に委託会社の判断により、購入・換金申込受付不可日とする場合があります。
申込締切時間	原則として午後3時30分までに、購入・換金の申込みにかかる販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日の申込受付分とします。 なお、販売会社によっては対応が異なる場合がありますので、詳細はお申込みの販売会社にお問い合わせください。
購入の申込期間	当初申込期間:2026年3月16日から2026年3月26日まで 継続申込期間:2026年3月27日から2027年6月15日まで ※継続申込期間は、上記期間満了前に有価証券届出書を提出することによって更新されます。
換金制限	大口換金には制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止及び取消し	金融商品取引所における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受け付けを中止すること、すでに受け付けたお申込みの受け付けを取消すこと、またはその両方を行うことがあります。
信託期間	無期限(2026年3月27日設定)
繰上償還	・主要投資対象とする投資信託証券が存続しないこととなったときは、繰上償還されます。 ・以下のいずれかにあたる場合には、受託会社と合意のうえ、繰上償還を行うことがあります。 ①各ファンドについて、純資産総額が30億円を下回ることとなった場合 ②受益者のため有利であると認める場合 ③やむを得ない事情が発生した場合
決算日	<毎月決算・予想分配金提示型>毎月15日(休業日の場合は翌営業日) ※第1期決算日は2026年5月15日とします。 <年2回決算型>毎年3月15日および9月15日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	<毎月決算・予想分配金提示型>原則として毎月決算を行い、収益分配方針に基づき分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないことがあります。 <年2回決算型>原則として毎年2回決算を行い、収益分配方針に基づき分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないことがあります。 また、受益者と販売会社との契約によっては、税金を差引いた後、無手数料で収益分配金の再投資が可能です。
信託金の限度額	各ファンド 1兆5,000億円(当初設定上限額1,000億円)
公 告	日本経済新聞に掲載します。
運用報告書	委託会社は、毎年3月および9月の決算時および償還時に交付運用報告書を作成し、販売会社を通じて知れている受益者に交付します。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に少額投資非課税制度「NISA(ニーサ)」の適用対象となります。 <年2回決算型>は、NISAの「成長投資枠(特定非課税管理勘定)」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 <毎月決算・予想分配金提示型>はNISAの適用対象ではありません。 益金不算入制度および配当控除の適用はありません。
そ の 他	販売会社によっては、<毎月決算・予想分配金提示型>および<年2回決算型>の間でスイッチングを取扱う場合があります。 また、販売会社によっては、いずれか一方のファンドのみの取扱いとなる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

# ファンドの費用

■**ファンドの費用** ※詳細につきましては、最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

投資者が直接的に負担する費用							
購入時手数料	3.3%( <b>税抜3.0%</b> )を上限として販売会社がそれぞれ別に定める率を、お申込受付日の翌営業日の基準価額(当初申込期間中は1口当たり1円)に乗じて得た額とします。						
信託財産留保額	換金の受付日の翌営業日の基準価額に <b>0.1%</b> の率を乗じて得た額とします。						
投資者が信託財産で間接的に負担する費用							
運用管理費用 (信託報酬等)	<p>純資産総額に対して年率1.21%(税抜1.1%) 計算期間を通じて毎日費用として計上され、日々の基準価額に反映されます。信託財産からは毎計算期末または信託終了時に支払われます。</p> <p>＜当ファンド①の配分＞</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>委託会社</th> <th>販売会社</th> <th>受託会社</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年率0.418%(税抜0.38%)</td> <td>年率0.770%(税抜0.70%)</td> <td>年率0.022%(税抜0.02%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>投資対象とする 投資信託証券② 年率0.51%程度</p> <p>実質的な負担 (① + ②) <b>年率1.72%程度(税込)</b></p>	委託会社	販売会社	受託会社	年率0.418%(税抜0.38%)	年率0.770%(税抜0.70%)	年率0.022%(税抜0.02%)
委託会社	販売会社	受託会社					
年率0.418%(税抜0.38%)	年率0.770%(税抜0.70%)	年率0.022%(税抜0.02%)					
その他の費用・ 手数料	信託事務の処理等に要する諸費用(監査費用、目論見書および運用報告書等の印刷費用、公告費用等)は、純資産総額に対して年率0.10%を上限とする額が毎日計上され、日々の基準価額に反映されます。信託財産からは3月および9月の計算期末または信託終了時に支払われます。また、組入る有価証券の売買時の売買委託手数料、外国における資産の保管等に要する費用、信託財産に関する租税等についても信託財産から支払われます。 「その他の費用・手数料」は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を表示することができません。						

※投資者のみなさまが負担する費用の合計額は、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

■**委託会社およびファンドの関係法人** 委託会社およびその他の関係法人の概要は以下の通りです。

委託会社	イーストスプリング・インベストメンツ株式会社 当ファンドの委託会社として信託財産の運用業務等を行います。
受託会社	野村信託銀行株式会社 当ファンドの受託会社として信託財産の保管・管理業務等を行います。
販売会社	販売会社に関しては、以下の委託会社の照会先までお問い合わせください。 イーストスプリング・インベストメンツ株式会社 TEL.03-5224-3400 (受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで) ホームページアドレス <a href="https://www.eastspring.co.jp/">https://www.eastspring.co.jp/</a> 当ファンドの受益権の募集の取扱いおよび販売、換金に関する事務、収益分配金・換金代金・償還金の支払いに関する事務等を行います。



# 当資料に関してご留意いただきたい事項

## <当資料に関してご留意いただきたい事項>

- ▶ 当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、当ファンドの参考となる情報の提供およびその内容やリスク等を説明するために作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。
- ▶ 当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ▶ 当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。
- ▶ 当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- ▶ 当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式／債券について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。

## <投資信託のお申込みに際してご留意いただきたい事項>

- ▶ 投資信託は、預貯金および保険契約ではなく、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護および補償の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の補償対象ではありません。
- ▶ 過去の実績は、将来の運用成果を約束するものではありません。
- ▶ 投資信託は、株式、公社債等の値動きのある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、ご購入時の価額を下回ることもあり、投資元本が保証されているものではありません。これらに伴うリスクおよび運用の結果生じる損益は、すべて投資者のみなさまに帰属します。
- ▶ ご購入の際は、あらかじめ販売会社がお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)、契約締結前交付書面等(目論見書補完書面を含む)の内容を必ずご確認のうえ、投資のご判断はご自身でなさいますようお願いいたします。

※MSCI指数はMSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。